

校正ノート

No.18
2016.4

晃南印刷株式会社
プリプレス部
校正担当/中里(内線301)
制作/竹沢(内線305)

ありがとう
80周年に感謝



国字

国字とは、中国以外でつくられた漢字のこと。国字の構成は、多く「会意」による。「会意」とは、二つ以上の漢字を組み合わせて意味を合成し、一つの漢字を作り出す方法。例えば、「木」が二つで「林」、三つで「森」となる類である。日本の国字は、その数1500とか。その一端を見る。

倂(おもかげ〜兄弟は顔や姿が似ているので、似姿や似顔の意を表す)・倂(くるま〜人がひく車)・働・風(たこ〜巾は布のこと)・風(なぎ)・風(こがらし)・𪛗(もんめ〜「文メ」の続け字)・呷(フィート)・噸/𪛗(トン)・𪛗(キログラム)・𪛗(キロメートル)・𪛗(ミリリットル)・𪛗(はなし〜耳新しい話の意)・𪛗(あくつ=低い土地)・𪛗(かかあ)・𪛗(とうげ)・𪛗(もり)・𪛗(そま=木材を伐り出す山)・𪛗(わく〜牟は糸巻きのこと、糸巻きの道具から囲み、範囲の意へ)・𪛗/𪛗(とち〜「𪛗」がもとの形、「十(とお)」と「千(ち)」をかける「万」になるところから、万を「とち」と読ませた)・𪛗(すぎ〜昌は、盛んにさかえる、すすくとこのびる意)・𪛗(くぬぎ〜くぬぎは、古くは「くのき」とも言い、門が家のうちそとを区別することから、「区の木」に当てた)・𪛗(かし〜材質が堅い木)・𪛗/𪛗(𪛗は、雑草や作物の茎を火で焼いて肥料とするはたけのこと。𪛗は、水田に対して、水気の少ない白くかわいた農耕地のこと)・𪛗(世:何代もはえる、また、葉:小さな竹の葉の略体とも)・𪛗(ささら=竹の先を細かく割って束ねた日本の民族楽器。𪛗は、細かくきざむ意)・𪛗(やな〜魚をとる仕掛け)・𪛗(こうじ〜蒸し米の上に、花が咲いたように繁殖するから)・𪛗(すい)・𪛗(せん〜泉:体内から種々の液汁を分泌する器官)・𪛗(すすき・のぎ〜亡は、見えにくい意)・𪛗(たばこ)・𪛗(やち=低湿地)・𪛗(ござ)・𪛗(かつら〜縵:長く垂れる)・𪛗(えび)・𪛗(かみしも)・𪛗(ゆき=背中心から手首までの寸法)・𪛗(つま=着物のすその左右両端)・𪛗(たすき)・𪛗(しつけ〜身体を美しく飾る)・𪛗・𪛗・𪛗(びょう)・𪛗(かすがい=建材をつなぎ合わせる大きな釘)・𪛗(まろ)

神にささげる木→さかき

木 + 神 = 神

魚偏の国字はたくさんある

𪛗(いわし〜一説に弱い魚から)・𪛗(ひらめ)・𪛗(かじか〜小石の多い河川にすみ、石の下に産卵する)・𪛗(圭は、三角形にとがった、形がよい意)・𪛗(ごり〜石の下に伏せている)・𪛗(かずのこ〜希は、細かい意)・𪛗(こち〜甬は、筒の意)・𪛗(どじょう〜於は、どろ)・𪛗(しゃちほこ〜この「しゃち」は想像上の魚で、頭は虎のよう、背に鋭いとげをもつという。火災除けとして屋根に付ける)・𪛗(なまず)・𪛗(ぶり)・𪛗(ぼら)・𪛗(はたはた〜雷のはげしく鳴るとき、海辺に集まる)・𪛗(たら)・𪛗(かつお〜堅は、肉がしまっている)・𪛗(きす)・𪛗(にお=カイツブリの古名、水の中に入ることから)・𪛗(しぎ)・𪛗(ちどり)・𪛗(いかるが〜くちばしが太くて、つのに似ている)・𪛗(つぐみ)・𪛗(ひわ〜弱は、肉や羽が柔らかい意)

同音異義語・同訓異義語の使い分け、似た言葉で間違いやすい使い方等、校正中これでいいのかともややした気持ちで仕事を進めると後味が悪い。調べると宙に舞っていた言の葉の意味がひらりと掌に落ちて、すっきりする。

「臨む」と「望む」

遠くの山々を「のぞむ」といふとき、「臨む」なのか、「望む」なのか?

「広辞苑」でそれぞれの意味を調べると、「臨む」は、①目の前にする。面する。②場合・機会などに向かいあう。際会する。③その場所に行く。④⑤略。「望む」は、①遠くからながめやる。②願う。欲する。期待する。③仰ぐ。慕う。とあるから、上の設問の答えは、「望む」。

「臨」は、「臣(下に伏せてうつむいた目を表す) + 人 + いろいろの品」で、人が高い所から下方の物を見おろすことを示す。

「望」(原字は亡のところが臣)は、「臣(目の形) + 人が伸びあがって立つさま」で、遠くの月を待ちのぞんでいる状態を示し、ない物を求め、見えない所を見ようとする意を含むことから、「希望」の望ともなる。(『新字源』)

「希」と「稀」

「希」は、①まれ。めずらしい。ごく少ない。うすい。かすか。②ねがう。めったにないことをあってほしいとねがう。③こいねがう。ねがいが望む。手づるを求めてまさぐる。「稀」は、まれ、うすい、まばらで少ない、こみあっていない、という意味をもつので(『新字源』)、どちらも「まれ」に当てることができる。稀釈は、希釈に置き換えが可ということであるが、「稀」にはねがう意味がないので、希望を希望とすることはできない。

4月歳時記

1日(金) エイプリルフール……日本語で四月馬鹿、漢語で万愚節、仏語ではブワソン・ダヴリル(四月の魚)
4日(月) 清明……二十四節気の一。清明祭=沖縄で、墓前に親族が集まり祖先を祭る
5日(火) 達治忌:三好達治……国語の教科書で出逢った詩人。快い叙情性
7日(木) 世界保健デー……厚労省が発表した今年のスローガンは「糖尿病」
8日(金) 花祭り……釈迦の生誕を祝う。灌仏会とも。伝説では、摩耶夫人の脇の下から生まれた
16日(土) 春土用入り……立夏前の18日間が春の土用
康成忌:川端康成……短編「片腕」はシュールで身がむずむずする
20日(水) 穀雨……二十四節気の一。これ以降、雨が多く降り始める
25日(月) 国連記念日……この日は、東京・銀座で大貫さんが現金1億円を拾った、拾得物の日でもある
29日(金) 昭和の日……昭和天皇の誕生日(1901年)

- 百穀春雨 百穀を潤し芽を出させる、この時期の雨のこと。穀雨は、種まきに適した時期なので農作業の目安にされる。
- 昭和の日 「国民の祝日に関する法律」(祝日法)での定義=「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす。」

竹沢メモ

すっかり暖かくなりましたね、新しい季節は何かワクワクします！
そしてお花見の季節がやって来ました！去年は下野市にあります天平の丘公園へ行きました、今年もまた桜の木の下で唐揚げを食べたいです。そして鹿沼市千手山公園にも行って観覧車に乗ったり列車に揺られながら桜を堪能したいと思います。皆様も是非お花見を！